

那覇市バリアフリー基本構想 参考資料

参考資料①重点整備地区の選定について

参考資料②移動等円滑化促進方針(マスタープラン)について

参考資料③障がいを持った方が困っていることと配慮について

参考資料④ほじょ犬について

参考資料⑤合理的配慮について

～ 参考①重点整備地区の選定について

1. 重点整備地区選定の考え方と選定結果

重点整備地区は、ガイドラインに示された重点整備地区設定の要件を参考に設定しました。

表-13.ガイドラインにおける重点整備地区の要件

要件	具体的な内容
要件①生活関連施設があり、かつ、それらの間の移動が通常徒歩で行われる地区	●特定旅客施設※¹ または特別特定建築物※²（官公庁施設、福祉施設等）が概ね 3 以上 ●生活関連施設が徒歩圏内に集積 ●面積が 400ha 未満
要件②生活関連施設及び生活関連経路についてバリアフリー化事業が特に必要な地区	●バリアフリー化事業が重点的・一体的に実施される地区
要件③バリアフリー化の事業を重点的・一体的に行うことが、総合的な都市機能の増進を図る上で有効かつ適切な地区	●高齢者、障がい者等に交流と社会参加の機能 ●消費生活の場の提供する機能 ●勤労の場を提供する機能
要件④境界の設定等	●町界・字界、道路、河川、鉄道等

※1 特定旅客施設:利用者数が 1 日平均 3,000 人以上ある駅・バス停等の旅客施設

※2 特別特定建築物:不特定かつ多数の人が利用する官公庁施設、福祉施設等

重点整備地区の要件を整理した結果、特定旅客施設である県庁前駅、旭橋駅を中心に、徒歩圏に市役所、パレットくもじ等の特別特定建築物がある旭橋～那覇文化芸術劇場なは一と～緑ヶ丘公園の範囲を重点整備地区として設定しました。

要件①徒歩圏での施設立地

- 那覇中央地域では、県庁前駅、旭橋駅、牧志駅が特定旅客施設に該当
- 那覇市役所、県庁、那覇文化芸術劇場なは一と、パレットくもじ、大道中央病院などが特別特定建築物に該当
- 徒歩圏での特定旅客施設、特別特定建築物の集積状況を考えると、県庁前駅周辺での設定が考えられる。

要件②事業実施

- 那覇中央地域では、一銀通り、市道久茂地9号、市道久茂地泊線で道路整備事業が実施
- 久茂地小学校跡地には那覇文化芸術劇場なは一とが建設され、緑ヶ丘公園では公園整備事業が実施されている。
- 那覇文化芸術劇場なは一と及びその周辺での道路整備を考慮すると、旭橋駅～那覇文化芸術劇場なは一と～緑ヶ丘公園の範囲での設定が考えられる。

要件③都市機能増進

- 旭橋駅～那覇文化芸術劇場なは一とのエリアは、那覇市の行政・商業・観光の中心的地域であり、当該エリアのバリアフリー化は高齢者・障がい者等の交流と社会参加の機会、消費生活の場、勤労の場の提供につながる。
- 旭橋駅～那覇文化芸術劇場なは一と～緑ヶ丘公園の範囲での設定が適切である。

要件④境界

- 当該地区には、幹線道路として国道58号、国道330号、国際通り、一銀通り、御成橋通りが、その他に久茂地川、緑ヶ丘公園が境界となりうる。
- 上記を境界にして、施設立地をみながら重点整備地区を設定。

2. 重点整備地区選定に関する各種データ

重点整備地区の選定にあたり、9 地域の評価を行いました。評価は、移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドラインに示されている評価指標例をもとに実施しました。

表 14.重点整備地区候補地の優先度を検証するための評価指標

項目		参考データ
①生活関連施設の分布状況		
②人口分布	常住人口、昼間人口	町丁目別人口・年齢別人口
	高齢者人口	
	障がい者人口	障害者手帳所持者
	従業者数※	
	観光客数※	
	外国人居住者数※	
③公共交通の現状	旅客施設利用者数	
	バス運行回数	
④地区の位置づけ	地区の位置づけ	上位関連計画による位置づけ
	将来の整備の方向性	
⑤将来プロジェクト	再開発事業、区画整理事業、駅前広場整備事業、その他面整備計画の有無	

出典：移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン

※はガイドラインに記載されていない那覇市独自の整理項目

- 1 バリアフリー
基本構想の概要
- 2 評価（特定事業
の実施状況）
- 3 バリアフリー基本構想
当初策定後の変化
- 4 重点整備地区の
課題及び基本方針
- 5 取組（特定事業
について）
- 6 今後の進め方
について

参
考
資
料

●市内各地の多くの生活関連施設が点在しています。



表 15.各地域における主要な生活関連施設の整備状況

地域名	施設名			
	行政施設	文化施設	医療・福祉施設	商業施設
那覇新港周辺			・大浜第一病院 ・天久台病院	
那覇北	・沖縄総合事務局 ・なは市民協働プラザ ・那覇公共職業安定所	・県立博物館・美術館	・那覇市立病院 ・おもろまちメディカルセンター ・那覇ゆい病院 ・系数病院 ・大道中央病院 ・田崎病院	・サンエー那覇メインプレイス ・天久りうぼう楽市
首里北	・首里支所		・沖縄県総合福祉センター ・沖縄県中央児童相談所 ・沖縄県身体障害者更正相談所 ・オリブ山病院	
首里				
真和志	・真和志支所	・中央図書館 ・中央公民館	・那覇市保健所 ・沖縄赤十字病院 ・沖縄協同病院 ・沖縄セントラル病院 ・沖縄南部療育医療センター ・琉生病院 ・川平病院 ・メディカルプラザ大同中央病院	
那覇中央	・那覇市役所 ・沖縄県庁 ・ハローワークプラザ那覇 ・那覇税務署	・沖縄県立図書館 ・パレット市民劇場 ・ぶんかテンプス館		・パレットくもじリウボウ
那覇西				
小禄	・小禄支所		・那覇市総合福祉センター ・小禄病院	・イオン那覇 SC
那覇空港周辺			・自衛隊那覇病院	

(2) 人口

①人口分布

- 那覇市には 2024（令和 6）年 5 月現在で 313,776 人の方が住んでおり、地域別では真和志地域が約 8.5 万人と市全体の 3 割近くを占めています。
- その他では小禄地域が約 5.8 万人、那覇北地域が約 4.7 万人と多くなっています。
- 人口密度は、真和志地域の国道 330 号から東側のエリアに人口密度 16,000 人/km² 以上の高密度な地域が広がっており、その他にも、那覇北地域や、小禄地域にも高密度な地域が点在しています。

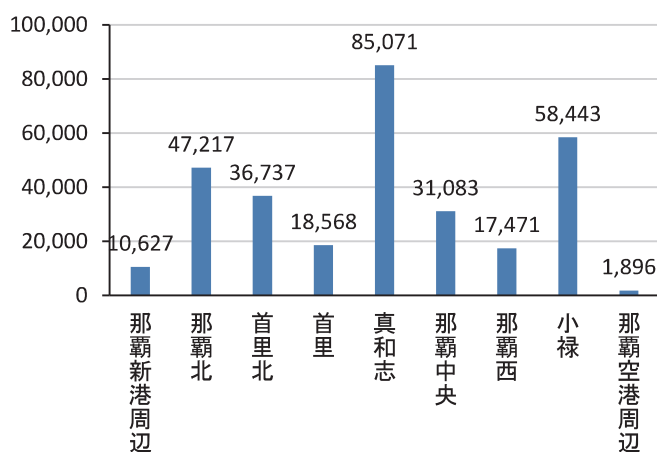


図-13.那覇市の地域別人口

出典：住民基本台帳（R6.5）

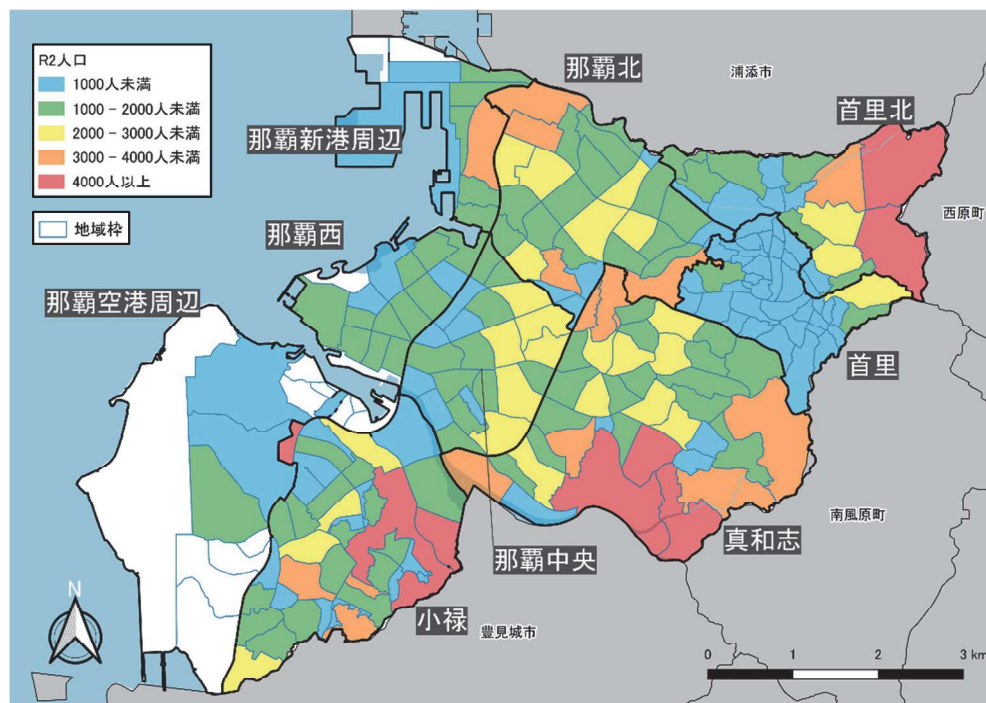


図-14.那覇市の人口分布

出典：令和 2 年度国勢調査

②人口推移

- 那覇市の人口推移は、2015（平成 27）年をピークに減少に転じており、2040（令和 22）年には総人口が約 2 万人減の 29 万 8 千人と予測されています。
- 地域別では、新都心地区で人口増加が予測される一方、真和志地域などでは人口減少が予測されており、地域により将来人口予測の増減が異なります。

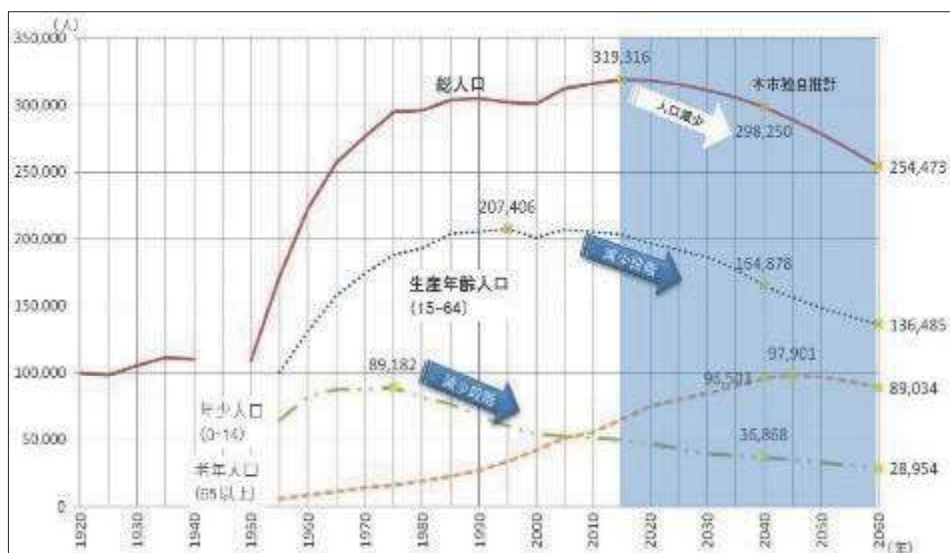


図-15.那覇市の人口推移と将来予測

出典：那覇市まち・ひと・しごと創生総合戦略（H27）

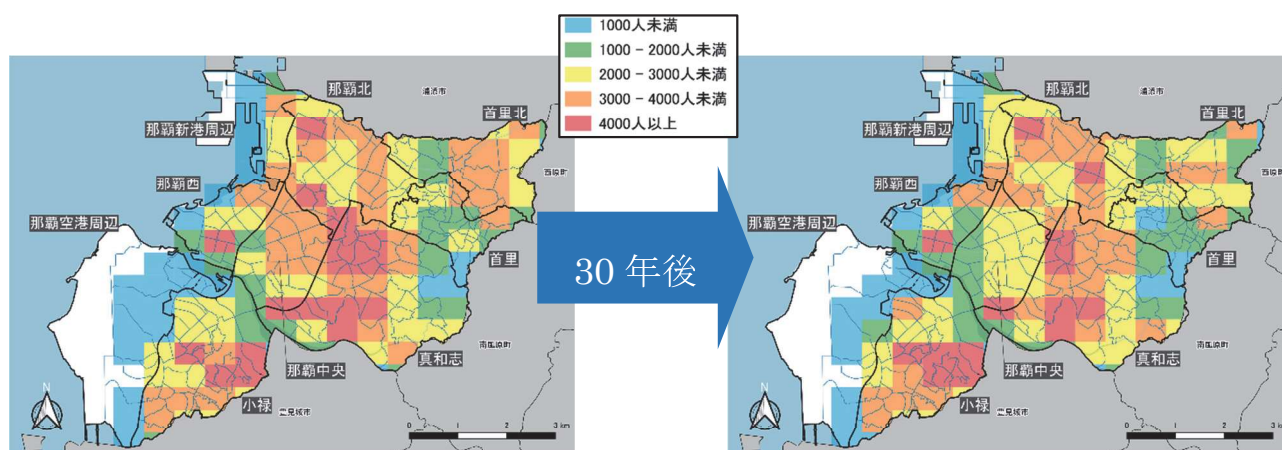


図-16.那覇市の人口（500m）の予測

出典：令和 2 年度国勢調査、H30 国土数値情報（将来人口）

③高齢化人口

- 高齢化の状況をみると、首里北地域、首里地域、真和志地域に高齢化率 30%以上の地区が多くみられます。
- 一方、那覇北地域や小禄地域は 15%以下の地区が多くなっています。

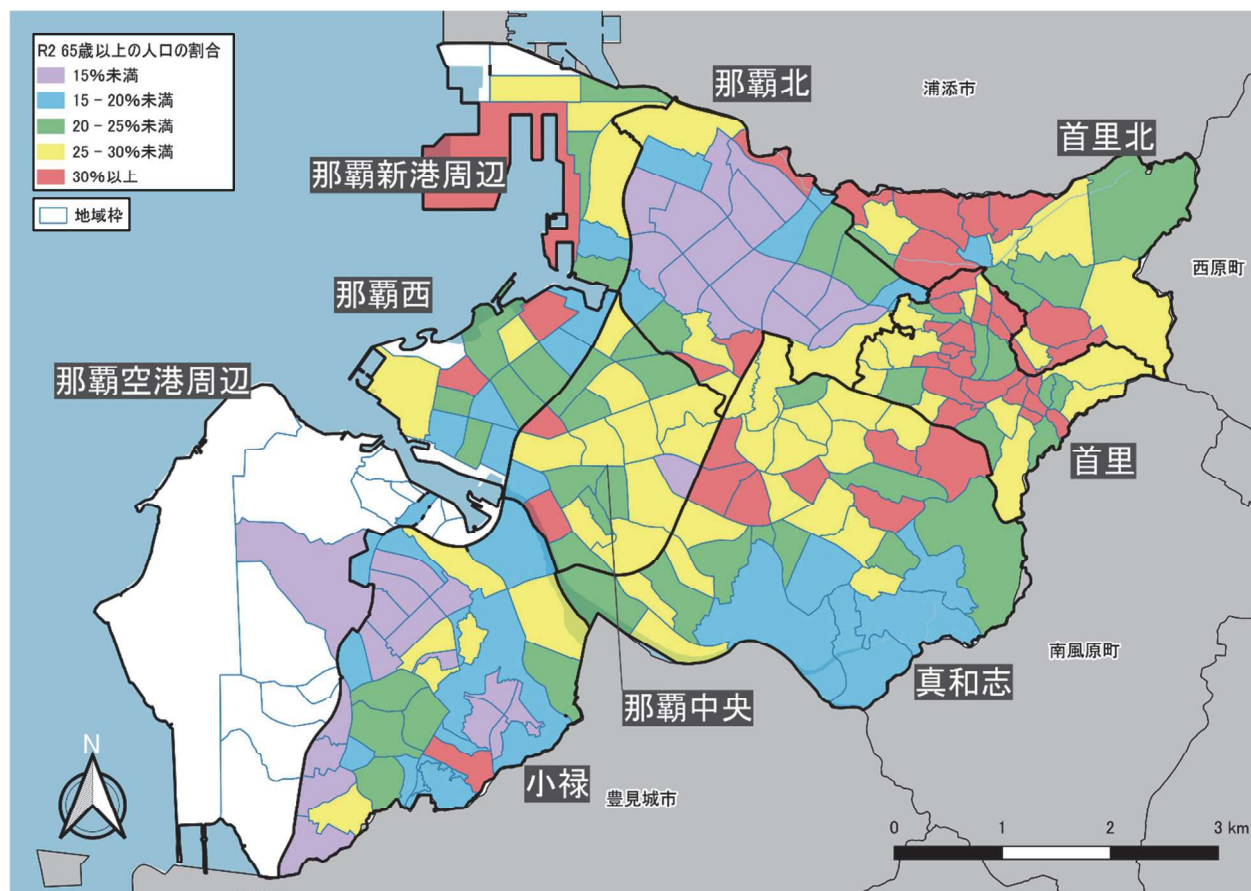


図-17.那覇市の高齢化率(地域別)

出典: 令和 2 年度国勢調査

- 1 バリアフリー
基本構想の概要
- 2 バリアフリー基本構想の
評価（特定事業の実施状況）
- 3 バリアフリー基本構想
当初策定後の変化
- 4 重点整備地区の
課題及び基本方針
- 5 バリアフリー化に向けた
取組（特定事業について）
- 6 今後の進め方について

参 考 資 料



- 1 バリアフリー
基本構想の概要
- 2 バリアフリー基本構想の
評価（特定事業の実施状況）
- 3 バリアフリー基本構想
当初策定後の変化
- 4 重点整備地区の
課題及び基本方針
- 5 バリアフリー化に向けた
取組（特定事業について）
- 6 今後の進め方について

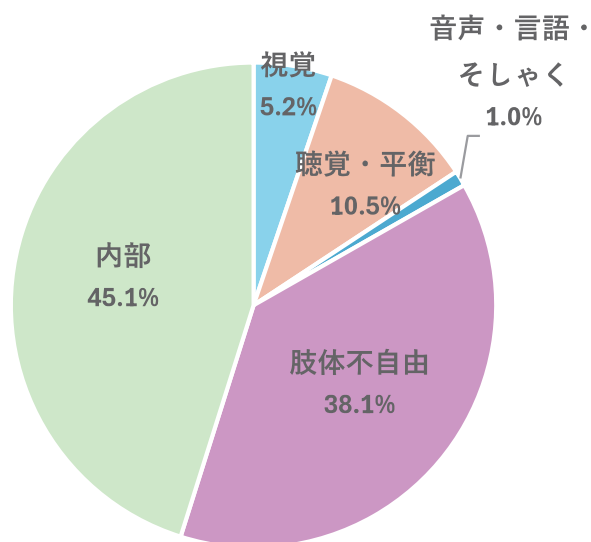
参 考 資 料

- 1 バリアフリー
基本構想の概要
- 2 バリアフリー基本構想の
評価（特定事業の実施状況）
- 3 バリアフリー基本構想
当初策定後の変化
- 4 重点整備地区の
課題及び基本方針
- 5 バリアフリー化に向けた
取組（特定事業について）
- 6 今後の進め方について

参 考 資 料

(3)障がい者数

- 那覇市内では、2023（令和5）年3月時点で約13,258人の方が身体障がい者手帳を所持しています。
- 身体障がいの割合としては、「内部」が45%、「肢体不自由」が38%と多く、「聴覚・平衡」11%、「視覚」5%、「音声・言語」1%の順となっています。



出典：R5 那覇市統計書

図-19.身体障がい者の種別割合

表-16.身体障がい者手帳の所持状況

障害名	1 級	2 級	3 級	4 級	5 級	6 級	総数
視覚	300	228	30	47	68	18	691
聴覚・平衡	50	267	143	407	7	520	1,394
音声・言語・そしゃく	9	6	70	51	-	-	136
肢体不自由	1,366	1,420	727	845	418	276	5,052
内部	2,694	127	1,460	1,704	-	-	5,985
計	4,419	2,048	2,430	3,054	493	814	13,258

出典：R5 那覇市統計書

(4) 従業者数

- 那覇中央地域、那覇北地域は従業者数が多く、500mメッシュあたり 3,000 人を超えるエリアが広がっています。
- また、那覇新港周辺地域、那覇空港周辺地域でも局所的に従業者数が 3,000 人を超える箇所がみられます。
- 首里北地域、首里地域、真和志地域、小禄地域は、従業者数 1,000 人未満のエリアが広く分布しています。

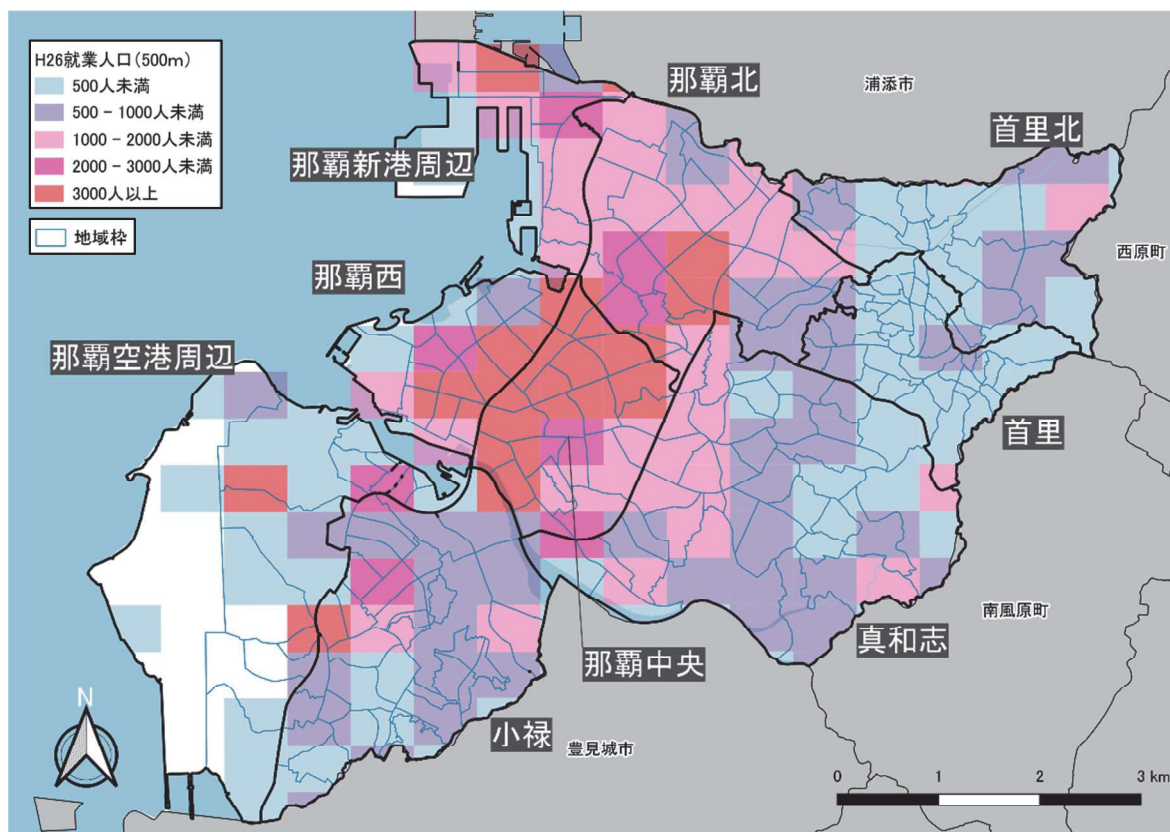


図-20.那覇市の従業人口

出典：H26 経済センサス基礎調査（500m メッシュ）

(5) 観光客数

●市内には国際通り、首里城公園、県立博物館・美術館、波の上みそら公園など集客力の高い文化・観光施設が点在しています。

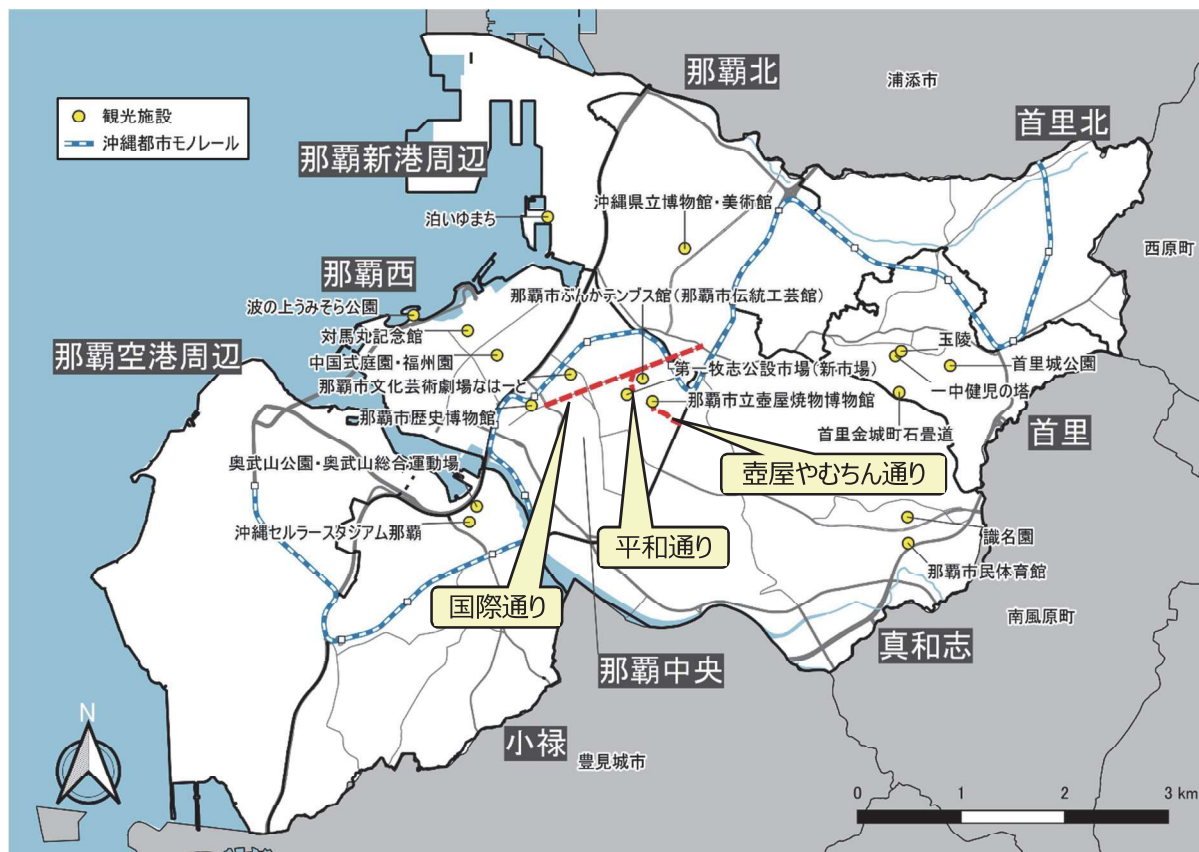


図-21.主な観光地、文化・観光施設

出典：R5 那覇市の観光統計に記載されている主な観光施設

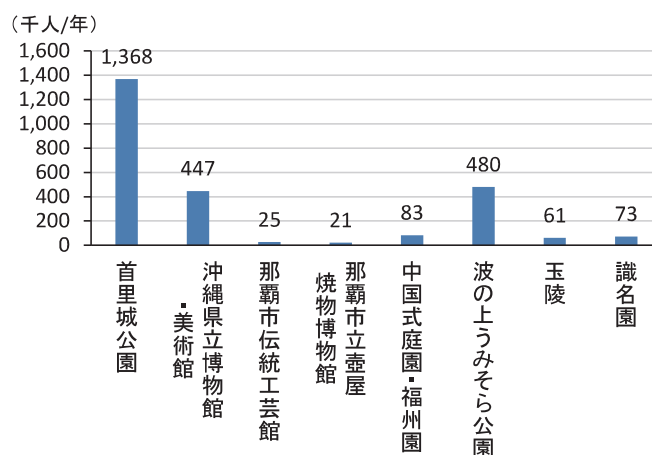
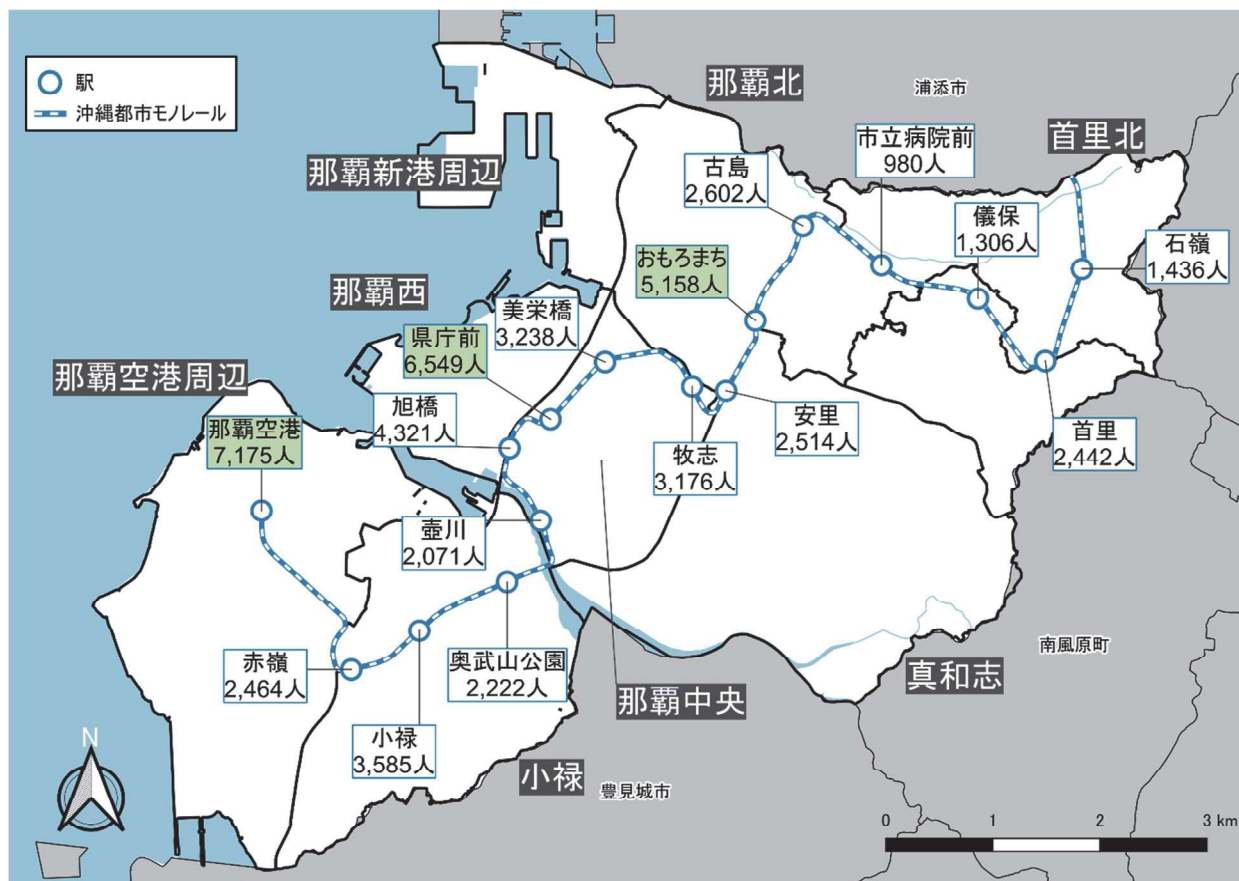


図-22.主な観光地、文化・観光施設の観光客数

出典：R5 那覇市の観光統計

②沖縄都市モノレールの利用状況

●沖縄都市モノレールの乗客は、「那覇空港駅」が 7,175 人/日、「県庁前駅」が 6,549 人/日と非常に多く、その他では「おもろまち駅」が 5,158 人と乗客数が 5 千人/日を超えています。



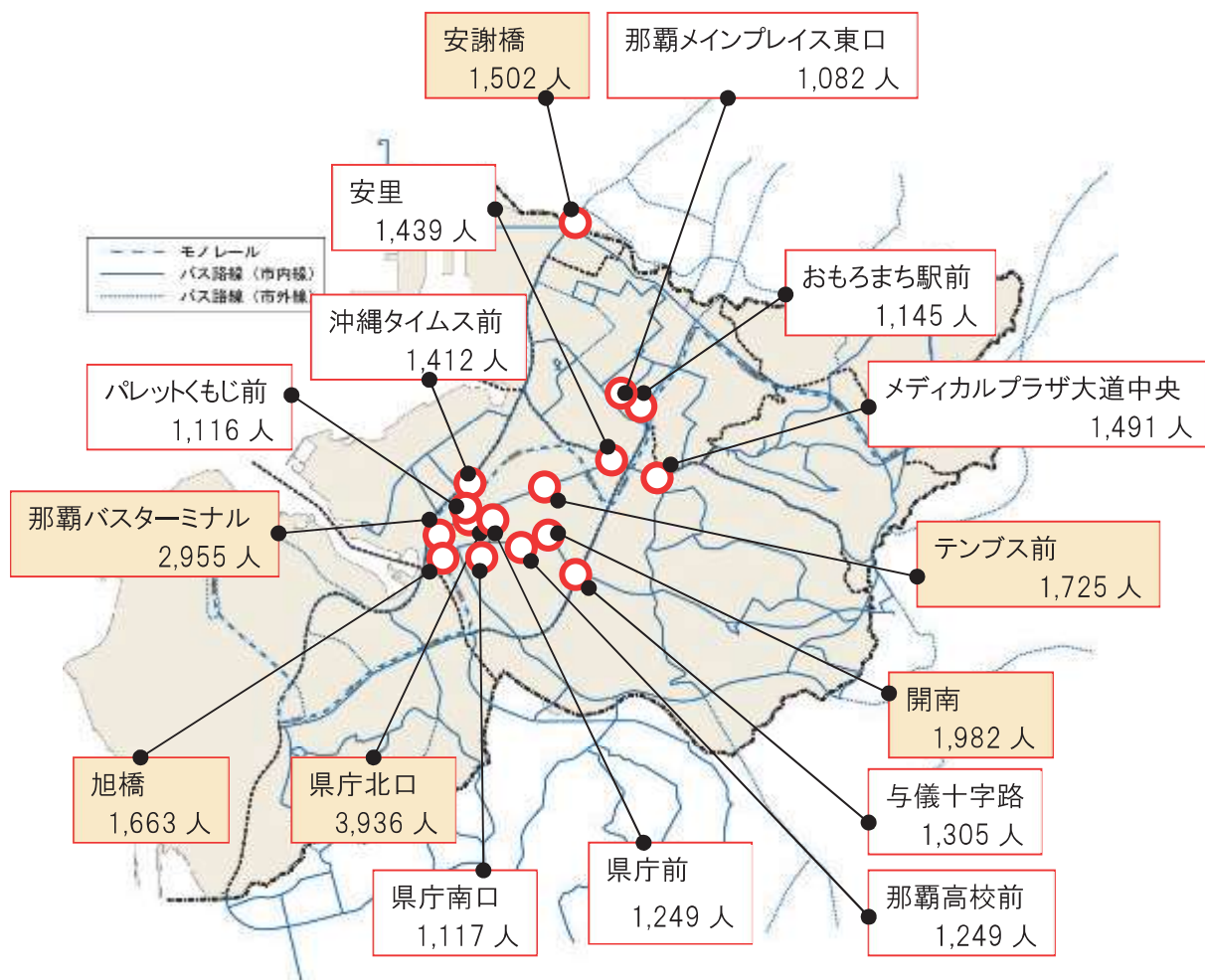
※着色は乗客者数 5,000 人以上の駅

図-25.モノレール駅の乗客者数(R5)

出典: 沖縄都市モノレール HP

③バス停の利用者数

- 路線バスの利用は「県庁北口」、「那覇バスターミナル」（那覇バスターミナルは向かいの旭橋バス停も含む）の利用者数が約 4,000～4500 人/日と多くなっています。
- 利用者数 1,000 人/日以上バス停は那覇中央地域に集中しており、その他では那覇北地域、真和志地域に点在しています。



※着色は利用者数 1,500 人以上のバス停

図-26.バス停の利用者数

出典：平成 25 年度沖縄本島路線バス利用促進方策検討に向けた調査報告書（沖縄県）

(8)地区の位置づけ

- 那覇市交通基本計画・総合交通戦略において、那覇中央地域は施策として、バリアフリー基本構想を策定し、バリアフリーの施策の推進が位置づけられています。
- また、同計画・戦略では首里地域及び那覇中央地域は公共交通や徒歩による観光促進が施策として位置づけられています。
- 那覇市都市計画マスタープランにおいて、多くの福祉施設が立地している石嶺福祉地区を福祉の拠点として位置づけ、面的にバリアフリーのモデル地区としてまちづくりを推進していくとされています。

②主要施策

- モデル性の高い基幹的公共交通の導入
 - ・国際通りトランジットモールおよびバス専用・優先レーンの拡充
- 多様な移動手段の利用環境の向上・充実
 - ・一方通行の導入による徒歩や自転車空間の確保
 - ・道路空間を活用した駐輪場（自転車・自動二輪車）の整備
 - ・タクシー乗り場の適正配置
 - ・バリアフリー基本構想を策定し、バリアフリーの施策を推進する
- 歩行者優先ゾーンにおける段階的な自動車交通の抑制
 - ・フリンジパーキングの整備
 - ・自動車の面的速度規制による安全性の確保
 - ・ロードプライシングや完全規制に向けた調整・研究
- まちづくりと連動した道路整備
 - ・トランジットモール拡充と合わせた地域の活動を支える生活道路の整備
- 新たな公共交通システム導入との連携

図-27.那覇市交通基本計画・総合交通戦略における那覇中央地域の主要施策

(9)プロジェクト

- 那覇市では、市街地再開発事業や、土地区画整理事業などの開発事業や、大規模施設の整備等は、計画していた事業が完了しており、進行中の大規模なプロジェクトは現在ありません。
- 渋滞緩和や、歩行者・自転車通行空間の確保に向けた街路事業や、利便性向上に向けた既存の公園の整備事業、既存の公共施設の建て替え事業などが進められています。

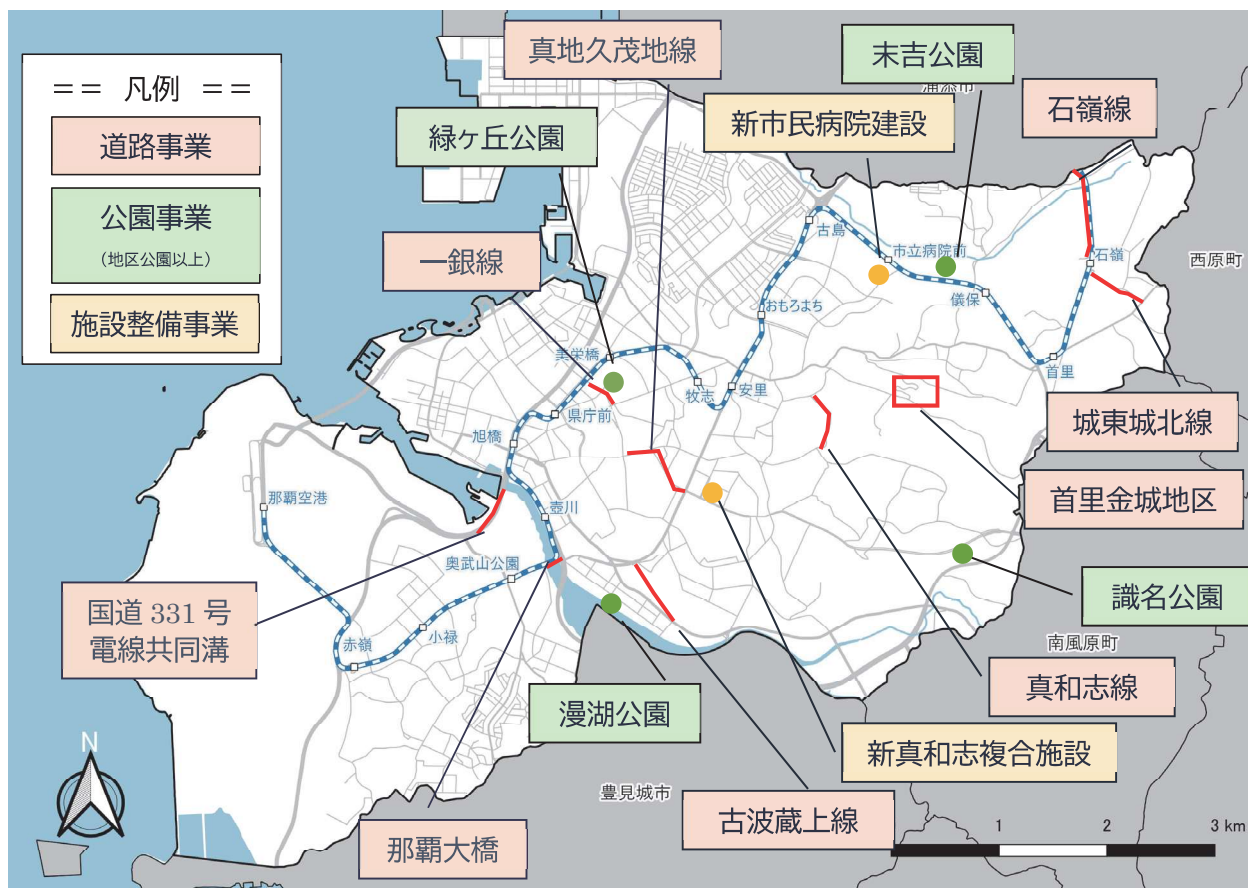


図-29.那覇市における主なプロジェクト

上記より、那覇市役所をはじめとする多くの施設が立地し、公共交通の利用者も多く、交通基本計画・総合交通戦略で、バリアフリー基本構想の策定が施策として位置づけられている「那覇中央地域」を重点整備地区の候補地としました。

表- 17.重点整備地区候補地域の選定結果

地域名	評価結果										
	施設分布			人口分布				公共交通		上位計画	プロジェクト
	行政・文化施設	医療・福祉施設	商業施設	高齢化	労働者	観光客	外国人	モノレール	バス停		
那覇新港周辺	△	○	△	○	◎	△	○	△	○ 安謝橋	△	△
那覇北	◎ 沖縄総合事務局、県立博物館・美術館等	○	◎ 那覇メインプレイス	◎	◎	○ 博物館等	○	○ おもろまち駅	◎ おもろまち駅前、メインプレイス東口等	△	△
首里北	△	◎ 県総合福祉センター、県児童相談所等	△	△	△	△	△	△	△	◎ モデル地区	◎ 城東城北線、石嶺線 末吉公園
首里	○ 首里支所	○	△	△	△	◎ 首里城等	△	○ 首里駅	△	○ 景観形成地域	○ 金城地区整備
真和志	◎ 中央公民館、中央図書館	◎ 赤十字、沖縄協働、川平病院等	△	◎	△	△	◎	△	○ メディカル病院大道中央	△	◎ 真和志線、識名公園、漫湖公園
那覇中央	◎ 市役所、県庁等	◎ 大道中央病院等	◎ パレットくもじ	○	◎	◎ 国際通り等	○	◎ 県庁前駅、牧志駅等	◎ 県庁北口、那覇バスターミナル 等	◎ バリアフリー基本構想策定	◎ 一銀線、緑ヶ丘公園
那覇西	△	○	△	○	○	◎ 若狭パース等	◎	△	△	△	△
小禄	○ 小禄支所	◎ 市総合福祉センター	◎ イオン那覇	◎	○	△	△	○ 小禄駅	△	△	△
那覇空港周辺	△	△	△	△	◎	◎ 那覇空港	△	○ 那覇空港駅	△	△	△

表- 18.重点整備地区候補地域選定の評価の視点

評価項目		◎	○	△
施設分布	行政・文化施設	行政、文化施設が複数ある。	支所がある。	左記以外
	医療・福祉施設	特に医療・福祉施設が集中している。	医療・福祉施設がある。	左記以外
	商業施設	10,000m ² 以上の商業施設がある。	5,000m ² 以上の商業施設がある。	左記以外
人口分布	高齢化	将来（2040（令和 22）年）に 65 歳以上が 40 人/ha 以上となる地区が集中している。	将来（2040（令和 22）年）に 65 歳以上が 40 人/ha 以上となる地区が点在している。	左記以外
	労働者	従業者数 3,000 人以上の地区がある	従業者数 2,000 人以上の地区がある	左記以外
	観光客	ホテルの立地や観光客が多い施設がある	1 万人/年以上訪れる観光施設がある	左記以外
	外国人	100 人以上居住している地域がある。	30 人以上居住している地域がある。	左記以外
公共交通の現状	モノレール	利用者数 5,000 名以上の駅が複数ある。	利用者数 5,000 名以上の駅が一つある。	左記以外
	バス	利用者数 1,000 名以上のバス停が複数ある。	利用者数 1,000 名以上のバス停が一つある。	左記以外
地区の位置づけ		上位計画でバリアフリーの位置づけあり	上位計画等で歩行環境への特記あり。または都市シンボル軸や景観形成地区	左記以外
プロジェクト		将来プロジェクトが複数ある	将来の実現に向けて取組がみえる	左記以外

～ 参考② 移動等円滑化促進方針(マスタープラン)について～

移動等円滑化促進方針（マスタープラン）は、駅やバスターミナルなど旅客施設を中心とした地区や、高齢者、障害者等が利用する施設が集まった地区（「移動等円滑化促進地区」）において、面的・一体的なバリアフリー化の方針を市町村が示すもので、広くバリアフリーについて考え方を共有し、具体の事業計画であるバリアフリー基本構想の作成に繋げていくことをねらいとしたものです。マスタープランが策定されると、基本構想の策定対象である重点整備地区は、移動等円滑化促進地区に含まれます。



図-30 移動等円滑化促進地域(マスタープラン)と重点整備地区(基本構想)との関係

出典:ガイドライン

【移動等円滑化促進方針（マスタープラン）の記載事項】

1. 移動等円滑化促進地区における移動等円滑化の促進に関する基本的な方針
2. 移動等円滑化促進地区の位置及び区域
3. 生活関連施設及び生活関連経路並びにこれらにおける移動等円滑化の促進に関する事項
4. 移動等円滑化の促進に関する住民その他の関係者の理解の増進及び移動等円滑化の実施に関するこれらの者の協力の確保に関する事項
5. 行為の届出等に関する事項
6. 市町村が行う移動等円滑化に関する情報の収集、整理及び提供に関する事項
7. その他、移動等円滑化促進地区における移動等円滑化の促進のために必要な事項
8. 移動等円滑化促進方針の評価に関する事項

※1、6、8については、任意記載事項

～ 参考③ 障がいを持った方が困っていることと配慮について ～

ここでは、移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドラインの参考資料より、障がいを持った方が困っていることや配慮することについて整理しました。

【肢体不自由者】

特徴

- 移動に制約がある方もいます。
- 文字の記入が困難な方もいます。
- 体温調整が困難な方もいます。
- 話すことが困難な方もいます。



困っていること

～車いす～

- 落ちているものを拾ったり、ドアを開けたりすることが一人では、難しいことがあります。
- 急な坂道や凹凸のある道では、自力で動けないことがあります。
- エレベーターが混雑していると移動ができません。
- 多目的トイレ（スペースの広いトイレ）しか使用できません。

～杖～

- 片手で荷物を持つことは大変です。
- 傘をさすことが困難な場合があります。
- 手すりを持つことやエレベーター等のボタンを押すことが困難な場合があります。

配慮することやコミュニケーションについて

- 杖を使用していると片手が塞がってしまいます。階段の手すりは左右どちらも設置されていると非常に便利です。

【視覚障がい者】

特徴

- 一人で移動することが困難な方もいます。
- 音声を中心に情報を得ています。
- 文字の読み書きが困難な方もいます。
- 点字や拡大文字等を用いるほか、パソコンの拡大機能、レンズや拡大機器等を用いて情報を得ています。
- 様々な色彩を用いた印刷物や構造物の見分けが困難な方もいます。



困っていること

～全盲者・弱視者～

- 声だけでは、知っている相手であっても分からないこともあります。（名前を呼ぶ等して、誰が誰に声をかけているのか明確に伝える必要があります）
- 「あれ」「これ」などの指示語で会話されると内容がわかりません。
- 点字ブロックの上に自転車等の障害物を置かれてしまうと、つまずいたり、転んだりする原因になります。
- 誘導ブロックが途切れていたり、敷設されていないと、方向が分からないだけでなく、とても危険です。

～全盲者～

- 自動販売機や券売機等を活用する際、種類を判断することが困難です。
- 電気自動車等の静穏機能により、車の接近が分からず危険です。

～色弱者～

- 建物の床と壁等色分けをしている場合、見分けがつかなく衝突の恐れがあります。

配慮することやコミュニケーションについて

- 点字だけではなく、音声等を活用した情報提供をすることが重要です。
 - ・視覚障害のある人が、必ずしも点字を読めるわけではありません。点字を使用している人は1割で、残り9割の人は、音声（録音物、代読等）や拡大文字により情報を得ています。
 - ・文字情報を音声にする方法としては、補助者による代読やパソコンの音声読み上げソフトを用いる等の方法があります。
- やさしく声掛けをする等小さな気配りが大切です。
知らない場所や目的地を探す場合、立ち止まったりきょろきょろすることがあるため、横からやさしく声をかけてください。
- カラーユニバーサルデザインガイドライン等を活用し、色彩に気をつけましょう。
- 色彩についてはコントラストをはっきりしたもの、十分な明るさのあるものを提供します。

【聴覚・言語障がい者】

特徴

- 外観からは分かりにくい方もいます。
- 視覚を中心に情報を得ています。
- 声を出して話せても聞こえているとは限りません。
- 補聴器等を付けていても会話が通じるとは限りません。



困っていること

～聴覚障がい者～

- 病院などの窓口で呼ばれていても反応ができません。
- 意図せず、大きい音を発している場合があっても、自分で気付かないことがあります。
- 屋外にいる時、クラクションが鳴ってもわかりません。
- 緊急時の音声アナウンスだけでは状況を理解できません。

～聴覚・言語障がい者～

- 電話やインターホンでのやり取りができません。

配慮することやコミュニケーションについて

- 聴覚や言語に障がいのある人との会話には、手話・指文字・筆談・口話・読話などの方法があります。
- 聴覚や言語に障がいのある人と会話をする際は、顔や口の形が見える位置でゆっくり話してください。
- 会議等で手話が必要な際は、手話通訳者も活用することが大切です。
- 筆談やコミュニケーションボードを活用する方法もありますが、相手が望む方法で対応することが大切です。
- 緊急時の音声情報を可視化できるもの（電光掲示板、点滅型避難誘導灯、イラスト付き等）や、音に代わって光や振動などで知らせるシステム等が整備されると便利です。

【知的障がい者】

特徴

- 複雑な話や抽象的な概念は理解しにくい場合があります。
- 人に尋ねたり、自分の意見を述べたりすることが苦手な方もいます。
- 漢字の読み書きや計算が苦手な方もいます。
- 一つの行動に執着したり同じ質問を繰り返したりする方もいます。
- 話や返事をしていても、内容を理解できていない場合もあります。
- 金銭管理や買い物、会話、家事、仕事などの社会生活への適応に、それぞれの状態に応じた支援が必要です。

困っていること

- 自分に利益か不利益か判断できない方もいます。そのため、キャッチセールス等の被害に引っ掛かりやすい方もいます。
- 初めての場面や初対面の人に対応するのが苦手な方もいて、困っていてもその状況を伝えられない場合があります。
- 急な予定の変更や、予想しないことに対処することが難しく、戸惑ってしまう方もいます。

配慮することやコミュニケーションについて

- 声をかける時はやさしく、ゆっくりと簡単な言葉で分かりやすく話します。また、ひらがなを添えれば、ある程度コミュニケーションできる方もいます。
- イラスト等を交えたコミュニケーションボードの活用が有効な場合もあります。
- 本人の年齢にふさわしい言葉で話します。(成人に対して子ども扱いしない)
- 声をかけるときはやさしくゆっくりと穏やかな口調で安心できるようにします。
- 簡単な言葉で具体的に分かりやすく、肯定的な表現で話します。
- 絵や写真、ピクトグラムなど、シンプルで分かりやすい情報提供の工夫が必要です。
- 対応に困った時は、ヘルプカードなどを参考に、早めに家族や支援者と連絡をとることも必要です。

【精神障がい者】

特徴

- ストレスに弱く、疲れやすかったり、対人関係やコミュニケーションが苦手な方がいます。
- 外見からはわかりにくく、障がいについて理解されずに孤立している方もいます。
- 学生時代に発病したり、長期入院したために社会生活に慣れていない方もいます。
- 認知面の障がいのために、何度も同じ質問を繰り返し、つじつまの合わないことを一方的に話す方もいます。
- 脳内の伝達機能に支障がおき、知覚・思考・感情などに障がいが起きています。

困っていること

- 精神障がいのある人に対する社会の偏見が強いためどう対応すればよいか困る方もいます。
- 誰かが話している（幻聴）、誰かに見張られている・嫌われている（妄想）などと感じる方や、不安感や抑うつ感があり、意欲が低下してしまうことで表現ができず誤解をされてしまうなど、一般の方より大きなストレスがかかっています。
- 考えや会話がまとまらなかったり、分かってもらいたい思いが強すぎるため、結果として周りを振り回してしまう方もいます。

配慮することやコミュニケーションについて

- 話を伝える際は、ゆっくりと、具体的な言葉を使用して話してください。
- 話を聞く際は、相手の伝えたいことを丁寧に聞いてください。急かしたりせず、見守る姿勢を心がけてください。
- 話を聞く際は、相手の伝えたいことを丁寧に聞いてください。急かしたりせず、見守る姿勢を心がけてください。
- 妄想と思われる話を聞いた際は、極力否定も肯定もしないように努めてください。
- 突発的だったり攻撃的に見える言動や行動がある場合でも、一生懸命自分を守ろうとしての防御であることもあります。万一、興奮状態にある時は、なだめるのではなく、本人を尊重し、見守りながら落ち着いた状態になってから話をしてください。
- こども扱いせずに、年齢相応の配慮をしてください。

【発達障がい者】

特徴

- こだわりが強く、突発的な出来事や予定の変更への対応が苦手な方もいます。
- 時間の感覚がわかりにくかったり、不快と感じる音を聞き流せない方もいます。
- 相手の話が理解できない、思っていることをうまく伝えられない方もいます。
- 興味のあるものをすぐに触ったり、手に取ったりせずにはいられない方もいます。
- 目的もなく歩き回ったり、そわそわして休みなく動いている方もいます。

困っていること

- 得意、不得意の差が極端にあり、得意なことを過剰に評価され、出来ないことを怠けていると誤解され悩む方もいます。

配慮することやコミュニケーションについて

- 短い文章で「ゆっくり」「丁寧に」「繰り返し」説明が必要です。
 - ・「ゆっくり」「丁寧に」「繰り返し」の対応を心がけてください。「繰り返し」はケースによっては逆効果の場合もあるので、2～3回言って通じなければ、伝え方を工夫しましょう。ゆっくりと穏やかに、肯定的な表現で話しかけてください。
- 抽象的な表現は用いず、できるだけ具体的に説明しましょう。
 - ・より具体的で、簡潔な分かりやすい言葉を使います。言葉だけでの理解が難しいと感じた場合には、視覚的な情報（絵や写真、地図、ジェスチャーなど、場合によっては文字も併用する）を使って伝えることを心がけましょう。
- 困っていたり、不安も感じたりしている際の対応も重要です。
 - ・困ったり不安を感じていても、その状況を自分からうまく説明できない場合もあるので、その方に合わせてやさしく話を聞くようにしてください。こだわりや癖が、周囲の人にはわがままに感じることもあるかもしれませんが、大声で説明することは逆効果となるため、穏やかな態度で、本人を尊重するように接してください。
- パニック時の対応も大切です。
 - ・万一パニック状態となったら、刺激せず、安全を確保しながら、周りの方にも理解を求めながら、落ち着くまでしばらく見守りましょう。近くに静かで落ち着ける場所があれば、そちらに誘導しましょう。

【内部障がい者】

特徴

- 外見からは分かりにくい障がいです。
- 疲れやすい方もいます。
- タバコの煙を苦しく感じる方もいます。

困っていること

- 外見では分かりにくく、他人に理解されないため、電車等の乗り物や会社等で「つらい、しんどい」と感じて助けを求められず、我慢している方もいます。
- 多目的トイレ（オストメイト等機能つき便房、簡易型多機能便房等）しか使用できません。

配慮することやコミュニケーションについて

- 周りからなかなか理解されず苦しんでいる方もいます。そういった方たちを理解することを心がけましょう。
- 携帯酸素を使用している方の近くでは、タバコを吸わないようにしましょう。
- なるべく負担をかけない対応を心がけましょう。

【妊産婦等】

特徴

- 乳幼児連れの方たちは、荷物が多く、手早く動くことができない場合があります。
- 外出先でおむつ替えやミルク等の授乳が必要な時、授乳室や赤ちゃんルーム等がどこにあるか分からない、または存在しない場合は、周囲を気にしながら対応することになります。



困っていること

- エレベーターが混雑していると移動ができません。
- おむつ替えやミルク等、授乳室等がないと周囲を気にしながら対応することになります。
- マタニティマークに対する理解が十分ではない等の悩みを抱えている場合があります。

配慮することやコミュニケーションについて

- 赤ちゃんが泣いていても、やさしく見守るように心がけましょう。
- 階段等で身動きが取れず困っていたら声掛けを率先しましょう。
- 公共交通では、他の移動制約者とスペースを共有するため、周囲の協力が必要です。ほんの少しの手伝いが、大きな手助けとなります。

【高齢者】

特徴

- 老化により視力や聴力、足腰の機能が低下していきます。
- 気力等の心身の機能が低下していきます。



困っていること

- 気持ちは若くても、体がついていかないことがあります。
- 漠然とした不安や疎外感を持つ方もいます。
- 物忘れがひどくなったり、新しいことが覚えられなくなったりする方もいます。

配慮することやコミュニケーションについて

- 高齢者だからと先入観を持たずに、よく話を聞き、ありのままを受け入れることが大切です。
- 新しいことは繰り返し伝え、重要なことはゆっくりと伝えましょう。
- 安全面に配慮しましょう。日常生活で転倒等の要因になりそうなものは極力排除しておくようにします。

【外国人】

特徴

- 日本語の読み書きや会話が十分にできないことや、習慣の違い等から意図せずトラブルに巻き込まれてしまうことがあります。



困っていること

- 公共交通機関やレストラン等、公共性の高い場所であっても言語表記が不十分であり、どうしたらいいか分からないことがあります。
- 無料で利用できる Wi-Fi 整備が不足しており、情報を得るのに苦労します。

配慮することやコミュニケーションについて

- イラスト等を交えたコミュニケーションボードの活用も有効です。
- 公共性の高い場所においては、英語等が話せるボランティアを配置するといった配慮も必要です。

～ 参考④ ほじょ犬について ～

ほじょ犬とは…

ほじょ犬は、目や耳、手足に障害のある方をサポートする「盲導犬」「介助犬」「聴導犬」のこと。障害のある方が自立と社会参加をするための大切なパートナーです。

身体障害者補助犬法に基づき、必要な訓練を受けています。

また、ユーザーはほじょ犬の衛生・行動管理をしっかりと行っているため、社会のマナーを守り清潔にしています。



ユーザーがほじょ犬を同伴して施設等を利用する際には、いつでもほじょ犬であることを示せるように、犬種、認定番号、認定年月日等を表示しています。

曲がり角をおし
教える！



1 盲導犬

見えない、見えにくい人が安全に歩けるようにサポートします。障害物を避けたり、立ち止まって曲がり角や段差を教えたりします。ハーネス(胴輪)をつけていて、「盲導犬」と表示しています。

出典: ほじょ犬・もっと知って Book (2019 年版、厚生労働省)

2 介助犬

てあししょうがいひとにちじょうせいかつどう
手や足に障害のある人の日常生活動
作をサポートします。ものを拾って渡し
たり、指示したものを持ってきたり、
だついかいじょ脱衣の介助などを行います。“介助犬”
と表示しています。



3 聴導犬

ききこえない、きこえにくい人に必要な
せいかつおんしげんかんおん
生活音を知らせます。玄関チャイム音、
メールやFAX等着信音、あかちゃんのな
泣き声、くるまのクラクション等を聞き分け
おし教えます。“聴導犬”と表示しています。

移動と施設利用

ユーザーはほじょ犬とともにさまざまな交通機関や公共施設
を利用します。ほじょ犬はユーザーの指示がとても大切
なので、ほじょ犬に対して、話しかける、じっと見つめる、
さわる等の気を引く行為は避けましょう。

交通機関

電車・バス・タクシー

シートなどを汚さないように足も
とでしづかに待機します。



公共施設

商業施設・飲食店・

病院・ホテル

どうせんかくほおとな
導線を確保し、大人しくテーブル
の下や椅子の側などで待機します。



ほじょ犬への接し方

- ☒ 食べ物を与えないようにしましょう。
- ☒ 気を引く行為は避けましょう。
- ☒ 温かく見守りましょう。



出典：ほじょ犬・もっと知って Book
(2019 年版、厚生労働省)

～ 参考⑤ 合理的配慮について ～

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」（以下、障害者差別解消法という。）により、障がいのある方への「合理的配慮」などが求められています。この障害者差別解消法では、合理的配慮を行うことなどを通じて障がいのある人もない人もお互いに、その人らしさを認めながら生きる社会「共生社会」を実現することを目指しています。

【障害者差別解消法で求められているもの】

「不当な差別的取り扱い」の禁止

- この法律では、国・都道府県・市町村などの役所や、会社やお店などの事業者が、障がいのある人に対して、正当な理由なく、障がいを理由として差別することを禁止しています。

「合理的配慮」の提供

- 障がいのある人は、社会の中にあるバリアによって生活しづらい場合があります。この法律では、役所や事業者に対して、障がいのある人から、社会の中にあるバリアを取り除くために何らかの対応を必要としているとの意思が伝えられた時に、負担が重すぎない範囲で対応すること（事業者においては、対応を務めること）を求めています。

対象となる「障がい者」、「事業者」

たいしょう しょうがいしゃ 対象となる「障 害 者」は？

この法律に書いてある「障 害 者」とは、障 害 者 手 帳 を持っている人のことではありません。

しんたいしょうがい ひと ちできしょうがい ひと せいしんしょうがい
身体障害のある人、知的障害のある人、精神障害のある人（発達障害や高次脳機能障害のある人も含まれます）、
ほたつしょうがい ころ じのうき のうしょうがい ひと ふく
その他の心や体のはたらきに障害（難病に起因する障害も含まれます）がある人で、障 害 や 社 会 の 中 に 在 る バ リ ア
によつて、にちじょうせい かつ しゃ かい せい かつ そうとう せいげん う
日常生活や社会生活に相当な制限を受けている人すべてが対象です（障 害 児 も 含 ま れ ま す ）。

たいしょう じぎょうしゃ 対象となる「事 業 者」は？

この法律に書いてある「事 業 者」とは、かいしゃ
お店はもちろんのこと、おな
くりかえし けいぞく いし おこな ひと
をいい、ボランティア活動をするグループ
なども じぎょうしゃ はい
「事 業 者」に入ります。

出典：「合理的配慮」を知っていますか？（内閣府）

～ 参考資料 一覧 ～

<バリアフリーに関する参考資料>

- ユニバーサルデザイン政策大綱（国土交通省）
- 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律
- 障害者差別解消法
- 移動等円滑化促進方針・バリアフリー基本構想作成に関するガイドライン（国土交通省）
- 沖縄県福祉のまちづくり条例
- 那覇市福祉のまちづくり条例
- ほじょ犬・もっと知って Book（厚生労働省）
- 「合理的配慮」を知っていますか？（内閣府）

<統計データ等に関する参考資料>

- 国勢調査
- 住民基本台帳
- 那覇市まち・ひと・しごと創生総合戦略
- 那覇市の観光統計に記載されている主な観光施設
- 国土数値情報
- 経済センサス基礎調査
- 那覇市統計書
- 那覇市の観光統計
- 沖縄県病院一覧名簿（沖縄県）
- 沖縄都市モノレール HP
- 平成 25 年度沖縄本島路線バス利用促進方策検討に向けた調査報告書（沖縄県）

2020(令和2)年3月 当初策定

2025(令和7)年3月 改定

那覇市バリアフリー基本構想

編集・発行 那覇市都市みらい部都市計画課
〒900-8585 那覇市泉崎 1-1-1
電話番号 098-951-3246



那覇市バリアフリー基本構想
